

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 3月 12日

事業所名 放課後等デイサービスLife is beautiful

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	3	2	0		・体操用品や机椅子等でスペースが 狭くなってしまっている、出来る範囲 で整理整頓をして気が散らない環境 をつくる ・部屋数が少ない
	②	職員の配置数は適切である	2	1	2		・女性職員が不足(女性職員が不在 の際、女の子対応に難あり)
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	0	2	3		・手すりなし、段差あり(今後検討)
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	4	1		・毎朝申し送りを通して、 振り返りと計画を立てて いる	・支援以外の業務改善もしてい きたい
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	5				・人員に関してや、支援員の対応に ばらつきがあるなどの意見があるた め、支援員の支援方法や保護者対 応の仕方について職員同士ですり合 わせをする
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	1	2	2		・第三者を決める必要がある(様々な 方向から意見を頂ける方)
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	2	1	2	・施設内研修としてマニュアル やガイドライン、特性につ いての資料の読み合わせは 行っているが不十分	・専門的な講師を招いた研修を行っ ていきたい、また事例検討会も積極 的に行っていきたい様々な場面を想定し 対応出来る力を身につけたい
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5			・保護者面談を行うこと で事業所での様子、家 庭、学校での様子を共 有し、それを元に一人ひ とりに合わせた計画を立 てている	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	1	3	1	・ABC記録やスキャッ タープロットを使用してい る ・共通する教 材、プログラムから推し 量っている	・ツールはあるが職員で共有できて いない
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		・毎回職員同士で話し合 い行っている	・独断で考えている所も多く見られた ので話し合っ内容等を見直してい く、連携を深める
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4	1		・柔軟な方向性をもつこ とで偏りが無い	・固定化はされていないが、支援の つながりが弱いきがする、活動内容 を変えるにしても方向性をしっかり持 つようにする
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4	1		・施設見学や、公園遊び を取り入れ利用者様に 公共施設の約束等を身 に着けられるように進め ている	・休日のプログラムが平日のプログ ラム＋公園遊びではなく1日過ごす 特徴を活かす意見が出ているため、 再度休日の支援内容の検討をする
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	4	1		・時間割を決めて個別・ 集団で活動できるよう工 夫している	・利用者の状況に応じて個別、集団 を分けることは難あり。時間割の中 で状況に応じてその都度対応してい く。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	3	1		・毎朝、申し送りを行い 前日の振り返り、当日の 流れの確認を行っている	・休日は朝から送迎に出してしまうた め事前確認する時間が無いという意 見が出ている。前日に決めるとな ると、そうすると退勤時間を過ぎてしま うため検討する
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	4	1		・支援終了後、記録を書 く際に各支援員に様子を 聞きながら個人だけの 意見で終わらせないよう にしている	・当日行う個別課題の周知は出来て いるがイレギュラーがあった際の対 応方法にバラつきがあるため、利用 者によっては戸惑う恐れがある。あ らゆる場面を想定して対応方法を統 一していきたい
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		・支援員同士で様子を振 り返りながら記入してい る	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	5			・保護者面談を行うこと で事業所での様子、家 庭、学校での様子を共 有し、それを元に一人ひ とりに合わせた計画を立 てている	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	①9	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	3		・ガイドラインの読み合わせも行い、職員が内容を意識しながら支援計画を立てられるよう心がけている	・各支援員の采配による部分もあるが、まだまだ不十分なところがある。今後はスキルの共有の勉強会も行っていきたい
	②0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2			・今後は現場で支援している職員にも積極的に参加してもらう
	②1	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	1			・トラブルが起きた際の対応について決めておく。事例が少ないこともあるが様々な場面を想定して学校関係対策マニュアルを作成する方向でいる。引き合渡しの際先生と会うところは話をするが機会がない所もある
	②2	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					・受け入れられる体制ではない
	②3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4	1		・電話で気になる子のみ様子を聞いている状況のため、偏りがある。偏りを失くしていけるよう他事業所との連携も図っていく
	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			5		・事例なし
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		4	1		・事業所内研修のみ。外部からの助言をいただくためにも研修機会を増やしていく
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	1	2	・公園で一般の方と交流するきっかけを作っている	・公園遊びや公共施設に行った際のみ。行事として関わる機会を作る為に他事業所、関係期間との交流を深める
	②7	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		1	3		現在、市で検討中のとのこと
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				
保護者への説明責任等	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	2		・保護者によって出来ている方とそうでない方がいる。まだまだ意識が低い。
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2			・相談されることも増えてきているが適切な対応が来ているかも不安もある
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			5		・保護者様の意見を考慮したうえで実施するか決めていきたい
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			・苦情対応マニュアルの内容だけでなく、ケースによってその都度職員同士で連携をとっている	
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			・毎月、事業所通信を発行して保護者の方にお知らせしている	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③⑤	個人情報に十分注意している	5				・社用携帯の導入検討(連絡の際に 使用している写真は個人携帯で撮影 している※使用後は削除している)
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	5				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている		1	4		
非常時 等の 対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	5			・事業所ホームページに て公表している	・公表のお知らせを保護者のかたに はしているがまだまだ周知されてい ないため繰り返し伝えていきたい
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	5			・毎月1回行っている 他、企業と連携した防災 イベントも実施している・ 開催日時も予定表に入 れている	・保護者の方から実施していることが 分からないという指摘もあったため 明確化出来るよう連絡帳、月間予定 表を活用する
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	3		2		・今後外部講師の研修機会を設ける と共に、職員同士でのストレスチェッ クを行いながらケアをしていく
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、放課 後等デイサービス計画に記載している	2	3		・契約書類一式に記入 し、契約時に保護者様と 読み合わせを行っている	・場面についての詳しい説明が足り ないように感じるため事業所として明 確化していく
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	1	3	1		・新しいお子様も含めてアレルギー や持病の確認を書面ととるひつよう があるため、契約書等に記入できる 欄を付け加える
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	4	1			・作成はしているが共有されているかは曖 昧なため、支援終了後に支援員同士で確 認しあうようにする・事業所以外の事例に ついては周知されていないため得た情報 は共有する

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。